

YAMAHA

NATURAL SOUND CD CDV LD PLAYER

CDV-300K

NTSC

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびはヤマハCD CDV LDプレーヤーCDV-300Kをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDV-300Kの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みください。よう、お願いいたします。

なお、お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。

保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分にご注意ください。

本機は、一般家庭用機器として作られたものです。従いまして、一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業使用、車両や船舶への搭載使用等）でのご使用はさけてください。

一般家庭用以外で本機を使用中、万一本機の不具合から生じた有形・無形の損失の保証については、ご容赦ください。

目次

特長	2
ご使用前に	3
ディスクについて	4
リアパネル各部の名称とはたらき	7
接続のしかた	8
フロントパネル各部の名称とはたらき	10
リモコンのキーの名称とはたらき	12
メニューについて	14

通常再生モード

基本的な再生のしかた	16
再生に便利な機能について	18
画質を調節するときは	18
音声の切換え	18
再生方法の切換え	21
チャプター／トラックを選んで再生するときは	24
画面表示の切換え	25
リモコンのキーの機能の切換え	28
ディスクの途中から再生するときは	29
トリック再生のしかた	31

カラオケモード

カラオケのしかた	32
選曲再生するときは	33
カラオケに便利な機能について	34
カラオケの音程（キー）を変えるときは	34
マイクのエコーの効き具合を調節するときは	35
音多バランスを調節するときは	35
音声多重モードを切換えるときは	36
普通のディスクでもカラオケができます	36
吹き替えカラオケのしかた	37
サラウンドを使うときは	37
十八番ファイルのしかた	38
動作状態の切換え	39
故障かなと思ったら	44
参考仕様	46
音楽著作権について	47
ヤマハホットラインサービスネットワーク	48

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CD VIDEO

L
LASER DISC

●設置場所にご注意ください。

- ・本機の上にテレビを乗せないでください。また本機をテレビの上に乗せないでください。
- ・テレビはスピーカーの磁気の影響を受けないように離して設置してください。
- ・窓際や、暖房器具の近くなど極端に温度の高い場所（周囲温度40℃以上）、または極端に温度の低い場所（周囲温度-5℃以下）では、本機の正常な機能を維持できない場合があります。
- ・熱を発生するアンプなどの近くには設置しないでください。特にラック内などに設置する場合はご注意ください。
- ・湿度の高い場所（湿度90%以上）は、金属部分にサビを生じたり故障の原因となることがあります。
- ・ほこりの多い場所は、スイッチなどの接触不良や雑音などの発生原因となり、性能を損なうことがあります。

●本機を輸送するときは、必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じた後、電源を切りディスプレイのSTANDBYが消灯してから行ってください。

●本機はデジタル機器のため、テレビに縞模様が出る、チューナーに雑音が入るなどの影響を与えることがあります。そのようなときは、本機と他の機器の設置場所を離してください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源を切ってください。

●定格電圧100Vでご使用ください。また電源コードは大切に取り扱いください。特にコンセントから外すときは必ずプラグを持って抜いてください。

- ・本機は、国内電源AC100V、50/60Hzの範囲でご使用ください。この電圧以外でのご使用は故障などの原因となりますので、絶対に避けてください。

●旅行や外出などで本機を長期間使用しないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●落雷の恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。

●本機の内部に異物（ビンやコインなどの金属片や紙などの燃えやすい物）が入ったり、雨や花瓶などの水がかかった場合、そのままの状態では電源を入れずと感電事故や故障を起こすことがあります。そのようなときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点またはお買い上げの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。お客様が本機の底板や上蓋などを開けることは絶対におやめください。

●故障と思われるときは、まず44ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

●結露について

冬期など、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置している部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露が付くことがあります。

露が付いたままではディスクの信号の読みとりや正常な再生ができません。このようなときは電源を入れたまま1～2時間そのまま放置し、露が消えてからご使用ください。



結露と同じ症状は、夏期のクーラーやエアコンの風が本機に直接当たるときにも起きることがあります。その場合は本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

●ご注意




- ・デジタルディスクは、従来のアナログレコードやテープ再生時のように再生前のノイズがほとんどありません。従って再生スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリューム位置にご注意ください。
- ・ディスクトレイが開いているときに中に手を入れしないでください。思わぬけがの原因となることがあります。
- ・本機でCD-ROM、CDグラフィックスは再生できません。

落雷や静電気など、外部から強い影響を受けると、本機が正常に動作しなくなることがあります。そのような場合は電源スイッチをオン/オフするか、電源コードをコンセントから抜き再度差し込んでください。正常に動作するようになります。

●デジタル音声つきディスクについて (*5)

 または  マークの記載されているディスクではデジタル音声に加えてアナログ音声も記録されています。本機では再生する音声を選択することができます。

●デジタル音声つきマルチオーディオディスクについて

 MULTI AUDIO または  と  マークの記載されているディスクではデジタル音声とアナログ音声に異なった内容が記録されています。本機では再生する音声を選択することができます。

●コンパクトディスクビデオについて

最長25分の演奏時間のうち、5分間の映像と音声（ビデオパート）と20分間の音声（オーディオパート）が記録されているディスクです。

●ビデオシングルについて

最長5分間の映像と音声も記録されているディスクです。

カラオケ用ディスクの音声について

■カラオケ用のソフトはディスクの種類により記録されている音声方式が異なります。

ディスク	音声		デジタル音声	アナログ音声
	左チャンネル	右チャンネル		
デジタル音声多重カラオケディスク	左チャンネル		演奏 (ステレオ)	演奏 (モノラル)
	右チャンネル		演奏 (ステレオ)	ボーカルまたはボーカル+演奏 (モノラル)
音声多重カラオケディスク	左チャンネル	右チャンネル	記録されていません 〔アナログ音声と同じ内容がデジタル音声で記録されているディスクもあります。〕	演奏 (モノラル)
				ボーカルまたはボーカル+演奏 (モノラル)
音声多重CDカラオケディスク	左チャンネル		演奏 (モノラル)	記録されていません
	右チャンネル		ボーカルまたはボーカル+演奏 (モノラル)	

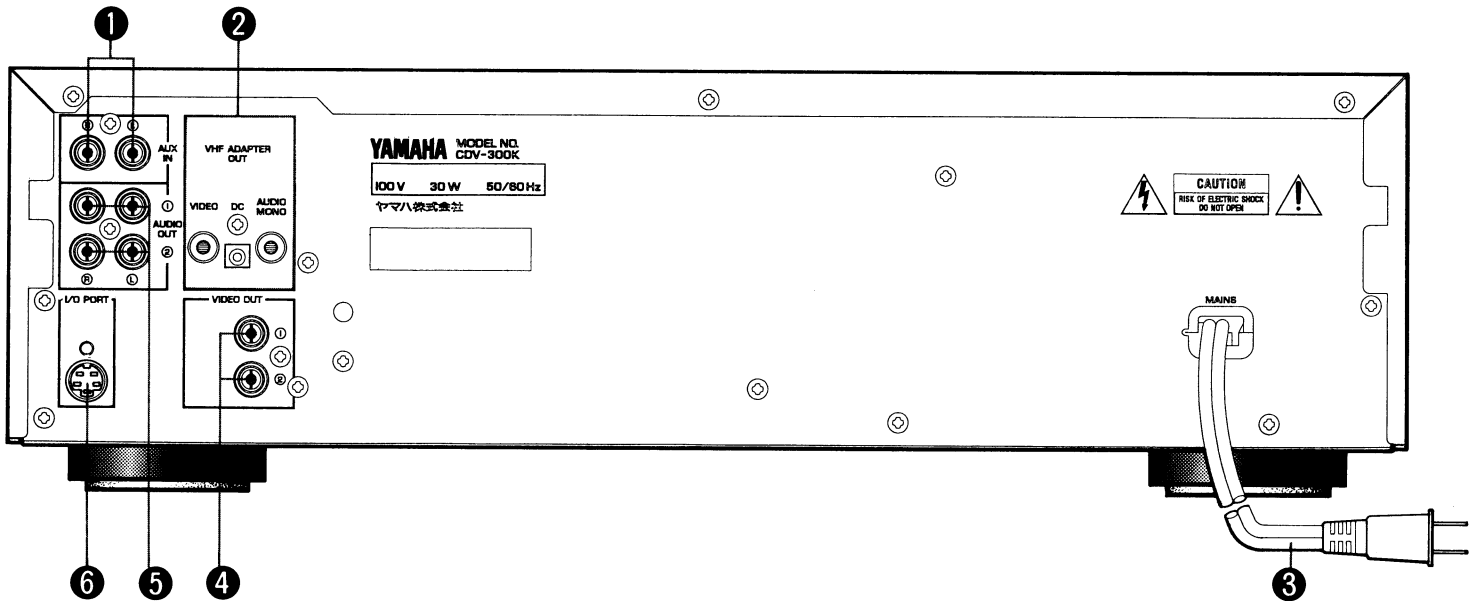
音声多重カラオケディスクについてのご注意

音声多重カラオケディスクとは右チャンネルにボーカルまたはボーカル+演奏が記録され、左チャンネルには演奏が記録されているディスクです。そしてアナログまたはデジタル音声のどちらか一方に音声識別コード（パイリンガルコード）が正規のフォーマットで記録されているディスクです。

- この分類に含まれないディスクでは音声多重モード、ワンタッチカラオケ、ボーカルエイドなどの機能が正常に働かないことがあります。
- ボーカルが左チャンネル、演奏が右チャンネルに記録されているなど、上記の分類に入らないディスクでは正常な動作をしないことがあります。

リアパネル各部の名称とはたらき

リアパネル各部の名称
とはたらき



エイユーエックス イン

①AUX IN (外部入力) 端子

カラオケテープなど外部機器を本機でカラオケ再生するとき、その機器の音声信号を入力する端子です。

* 外部機器を再生できるのはカラオケモードのときだけです。

ワイエイチエフ アダプター アウト

②VHF ADAPTER OUT (VHFアダプター出力) 端子

AV入力端子の無いテレビとRF接続をするときに使用する端子です。

* ④、⑤端子を使って接続するときは使用しません。

* VHFアダプターにつきましては販売店にご相談ください。

③電源コード

A C 100V 50/60Hzの家庭用コンセントあるいはアンプの電源コンセントに接続します。本機の消費電力は30Wです。

アンプに接続するときは、アンプの電源コンセントの供給電力を確認してください。

* 電源コードには白い線で極性が表示されています。これは接続する機器と電源極性を合わせるためのものです。

接続する機器のコンセントに極性表示がある場合は、極性を合わせてください。

ビデオ アウト

④VIDEO OUT (映像信号出力) 端子

映像信号を出力する端子です。2系統まで接続できます。

オーディオ アウト

⑤AUDIO OUT (音声信号出力) 端子

音声信号を出力する端子です。2系統まで接続できます。

音声出力のレベル (音量) は調整することができます。

アイオー ポート

⑥I/O PORT (I/Oポート)

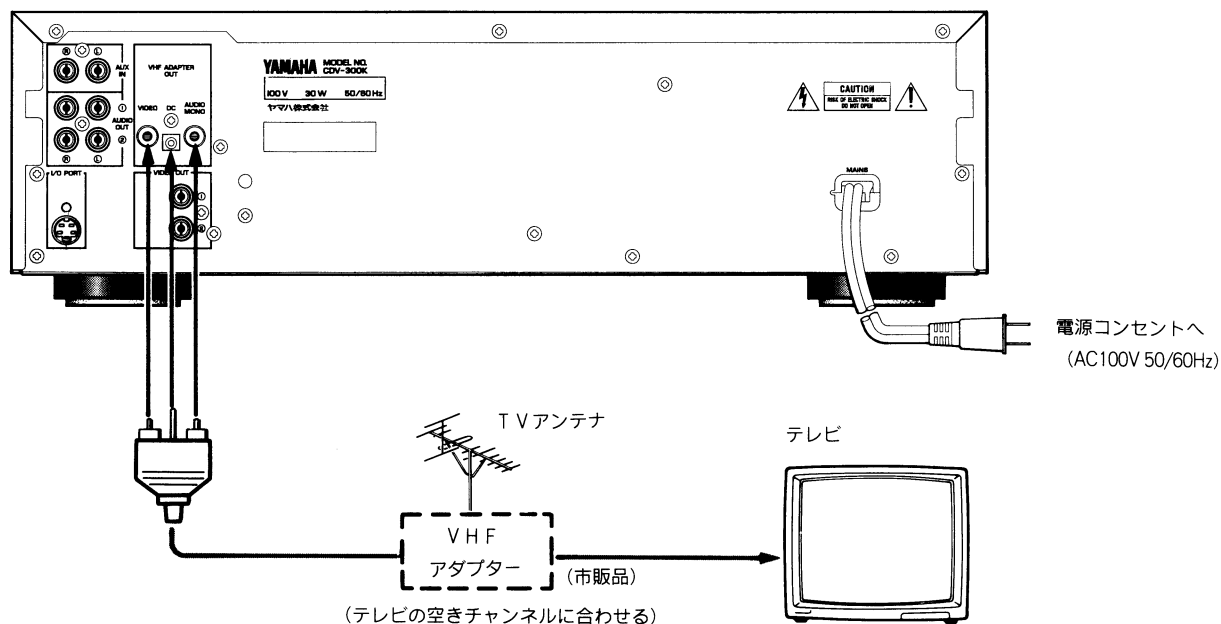
調整用端子です。ご使用になれません。

接続例 B : AV (映像/音声入力) 端子の無いテレビと接続する場合

市販のVHFアダプターをご用意ください。

●VHFアダプターについては販売店にご相談ください。

●VHFアダプターをご使用の場合、テレビから出力される音声はモノラルです。より質の高い迫力ある音声をお楽しみいただくために、音声端子(AUDIO OUT)はステレオアンプ、またはカラオケアンプと接続することをおすすめします。

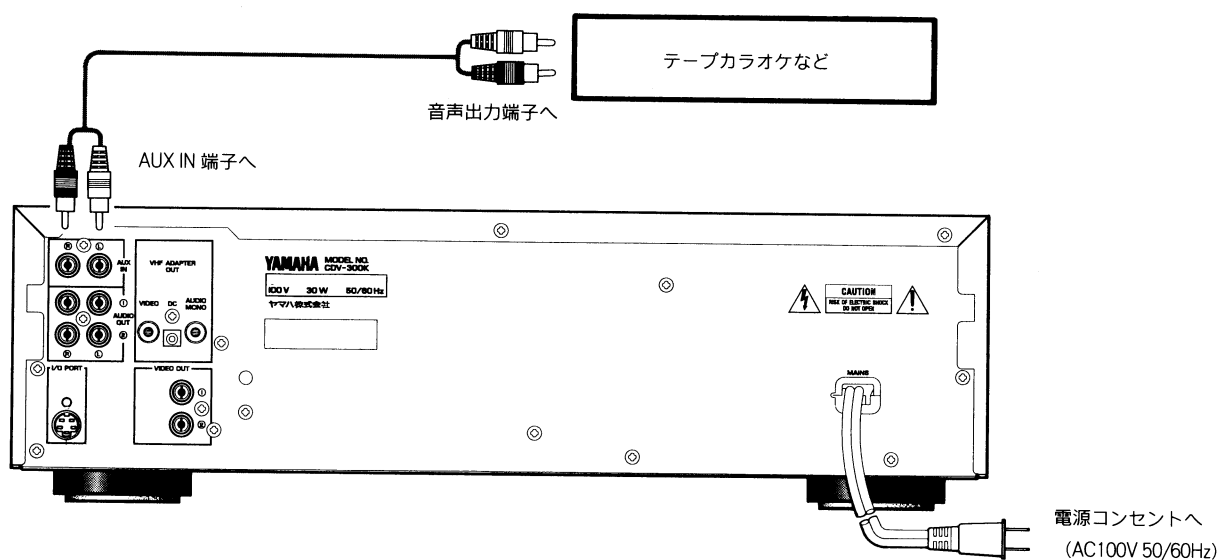


ご注意

- ・本機を再生するときはテレビをVHFアダプターで設定したチャンネルに合わせます。
- ・テレビ番組を見るときは本機の電源をオフにしてください。

接続例 C : 外部機器の接続


テープカラオケなど外部機器を本機に接続しますと、キーコントロールやサラウンドなど、本機のカラオケ機能を加えてお楽しみになれます。



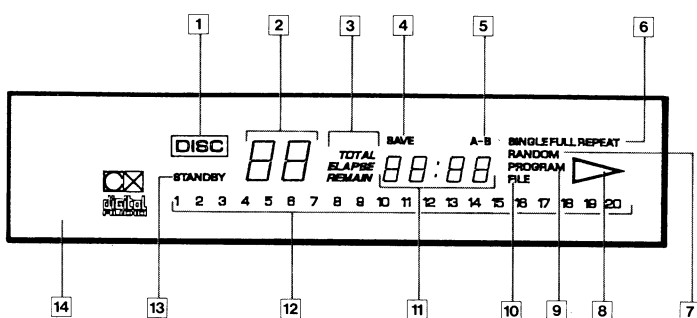
- ⑩ MIC 1、2 レベル調節ツマミ/ジャック**
マイクのプラグを接続します。マイクの音量はツマミで調節します。
* 本機で電子楽器を演奏するときは、楽器の出力プラグをMIC2ジャックに接続します。

- ⑪ MIC CONTROLジャック**
ヤマハのマイクYMK-305PRO（別売り）を使うときは、コントロールプラグ（ミニプラグ）をこのジャックに接続しますと、マイク側

でキーコントロールやワンスモア（喰い戻し）をすることができません。
* 接続するときは、必ずコントロールプラグを先に接続してからマイクのプラグを接続してください。

- ⑫ INST/MIC切換スイッチ**
MIC 2 ジャックに接続した電子楽器を演奏するときはスイッチを押します。
* INSTの位置（)ではMIC 2の入力レベルが約20dB減衰されます。

ディスプレイ



- ① DISCインジケータ**
ディスクの情報を読みとり中は点滅、読みとりが完了すると点灯します。
ディスクが無い場合や一部の片面ディスクを裏返しに乗せた場合は消灯します。

- ② チャプター/トラックナンバーインジケータ**
再生またはサーチ中のナンバーを表示します。
* プログラム中は選んだナンバーを表示します。

- ③ TOTAL/ELAPSE/REMAINインジケータ**
再生時間の内容を表示します。
ELAPSE : 曲ごとの再生経過時間
TOTAL ELAPSE : ディスクの頭からの総再生経過時間
TOTAL REMAIN : ディスクの総再生残り時間
* TOCの記録されていないディスクでは、いずれのインジケータも点灯しません。

- ④ SAVEインジケータ** (→38ページ)
カラオケモードでファイルをセーブ（保持）したときや、すでにファイルをセーブしたディスクをセットしたときに点灯します。

- ⑤ A-Bリピートインジケータ**
A-Bリピートの指定中は点滅、再生中は点灯します。

- ⑥ SINGLE/FULL/REPEATインジケータ**
リピート（繰り返し）再生の種類を表示します。
SINGLE REPEAT : チャプター/トラックのリピート
FULL REPEAT : ディスク片面すべてのリピート

- ⑦ RANDOMインジケータ**
ランダム再生に設定されているときに点灯します。

- ⑧ 再生インジケータ**
再生中は点灯、一時停止中は点滅、停止中は消灯します。

- ⑨ PROGRAMインジケータ**
プログラム時に点灯します。

- ⑩ FILEインジケータ**
カラオケモードでファイルプレイを設定しているときに点灯します。

- ⑪ タイム/フレームナンバーインジケータ**
再生時間やフレームナンバー、タイムナンバー、インデックスナンバー、プログラムナンバーを表示します。
また各種の状態を表示します。

- ⑫ ミュージックカレンダー**
ディスクが収録しているチャプター/トラックナンバーが点灯し、再生の終わったナンバーは消灯します。
* プログラム時は選曲した曲番が点灯します。
* チャプター/トラックナンバーが0および21以上は表示しません。
* TOCの記録されていないディスクでは、本機がディスクの最初と最終のトラック/チャプターナンバーを読み取ると表示します。

- ⑬ STANDBYインジケータ**
本機がスタンバイ状態のときに点滅します。
電源をオンにすると点滅後、消灯します。また電源をオフにすると点滅後消灯します。

- ⑭ リモコン受光窓**
リモコンの信号を受光する窓です。

ディスプレイの動作表示について

OPEN	ディスプレイが開いているとき
no disc	ディスプレイにディスクが無い場合、または片面ディスクが裏返しに置かれているとき
F	フレームナンバーサーチ時
「」	ランダム再生の選曲中は「」が回転します。
End	再生終了時
P-01	プログラムの選曲中

メニュー
⑦ MENUキー

画面にメニューを表示させるときに押します。もう一度押すとメニューが消え通常の画面に戻ります。

セット スピード
⑧ SET/SPEEDキー

メニュー画面表示時
カーソル (→) がメニュー画面からサブメニュー画面、ウィンドウの順に移動します。

ウィンドウでは、キーを押すとカーソルで選んだ項目に設定 (*) することができます。

また各種の設定をするときに押します。

トリック再生時 (CAVディスク再生時のみ)

キーを押すと静止画になり、もう一度押すと通常の再生に戻ります。

カラオケモード時

予約画面を表示します。また予約を解除するときにも押します。

⑨ スキップキー

トラックモード時

チャプター／トラックの頭出しをします。

▷◁: 再生中に押すと次のチャプター／トラックの再生に移ります。

◀◁: 再生中に押すと現在再生中のチャプター／トラックの頭から再生します。続けて押すとその前のチャプター／トラックの頭から再生します。

* プログラム再生中は、次のプログラム曲にすすめたり、前のプログラム曲に戻ることができます。

* 一時停止中や停止中も頭出しをすることができます。

シャトルモード時 (通常再生時のみ)

シャトルサーチ画面が表示されます。また↑を左右に移動します。

▷◁: ↑が右に移動します。

◀◁: ↑が左に移動します。

⑩ 数字キー

スタンダードモード時

チャプター／トラックナンバー、インデックスナンバー、フレームナンバー、タイムナンバーを指定するときに使います。

カラオケモード時

ダイレクト選曲ができます。

⑪ +10キー

10以上のチャプター／トラックナンバーやインデックスナンバーを指定するときに押します。

例: 10のときは・・・+10キーを押し、0キーを押す。

23のときは・・・+10キーを2回押し、3キーを押す。

* +10キーでフレームナンバーやタイムナンバーを指定することはできません。

ダウン アップ
⑫ DOWN/UPキー

スタンダードモード時

本機およびヘッドホンの音量を調節します。

UPキーを押すと音量が大きくなり、DOWNキーを押すと小さくなります。

* 音量は状態は画面にバーグラフで表示されます。

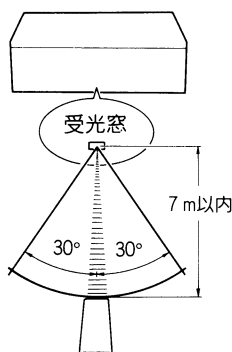
カラオケモード時

UPキーを押すと音程 (キー) がナチュラル (♮) から高く (#) なり、DOWNキーを押すと低く (♭) なります。

■ リモコン操作について

リモコンの信号は直進性の高い赤外線を使っています。操作をするときはリモコンと本体の受光窓との間をさえぎらないようにご注意ください。

● リモコンの操作範囲



図の範囲内であっても、ディスクトレイが開いていて、それによりリモコンの信号がさえぎられていると、操作できませんので、ご使用になる角度にご注意ください。

付属のリモコンは

本機専用です。本機のリモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器の受光窓を紙などでふさぐか、設置場所を変えてください。

リモコンはていねいに扱ってください

お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など温度・湿度の高いところには置かないようご注意ください。

また本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンの操作ができなかったり誤動作することがあります。

メニューの使いかた

A メニューを出すときは

MENUキーを押します。(A)

B メニューを選ぶときは(メニュー画面)

▲、▼キーで→を希望のメニューに合わせます。(B)

C 設定したい項目を選ぶときは(サブメニュー画面)

①▶キーまたはSETキーを押します。(C)

②▲、▼キーで→を設定したい項目に合わせます。(B)

設定するときは(ウィンドウ)

①▶キーまたはSETキーを押します。(C)

・ウィンドウの設定(*)されていた項目が→になります。

②▲、▼キーで→を希望の設定項目に合わせます。(B)

③SETキーを押します。(E)

・◀キーを押すとウィンドウの→は自動的に設定(*)に変わります。(D)

・MENUキーを押すと自動的に設定され通常の画面に戻ります。

●他にも設定する項目があるときは

◀キーを押し→を前画面に戻し上記と同じ操作をします。

通常の画面に戻すときは

MENUキーを押します。(A)

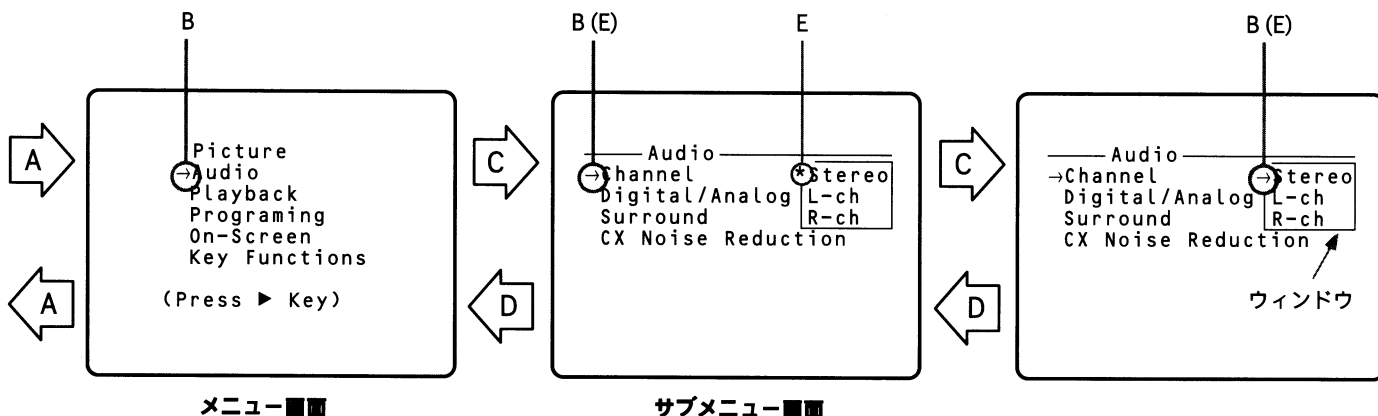
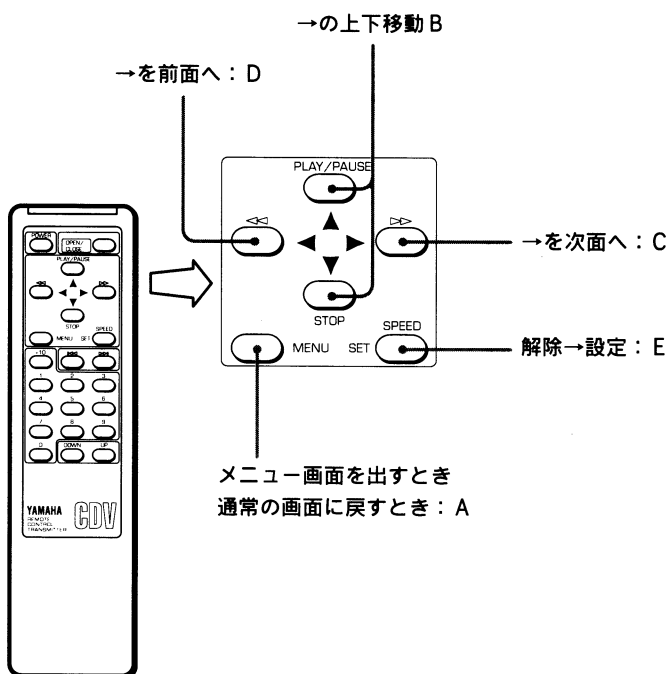
ご注意

・本機はディスクの情報を読みとって表示をします。従ってディスクによっては表示しないものや設定できない項目があります。

例：CDディスクではデジタル音声のみのため、アナログは表示されません。

・スタンダードモードとカラオケモードではメニューの内容が異なります。

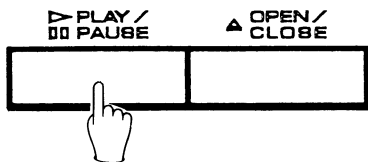
・メニューによっては上記の操作と異なるものがあります。



■再生を一時止めるときは

PLAY/PAUSEキーを1回押します。

- ・ピックアップはその箇所ですまり、ディスクは回転を続けます。
- 再生を再開するときはもう一度押します。



●ピクチャーストップについて

ピクチャーストップコードが記録されているディスクを再生しますと、コードで指定されている箇所まで再生が自動的に停止し、画面に“AUTO STILL”が表示されます。再生を再開するときは本体やリモコンのPLAY/PAUSEキー、またはリモコンのSPEEDキーを押します。

■再生を止めるときは

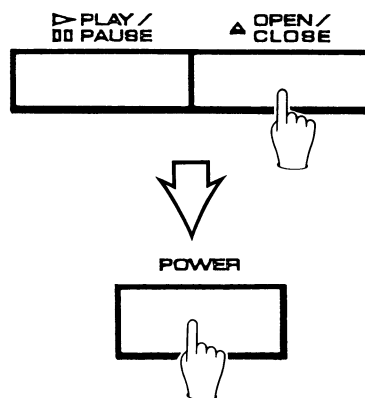
STOPキーを押します。

- ・ピックアップはディスクの頭に戻り、回転は止まります。



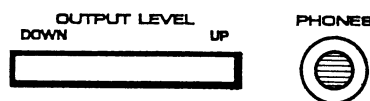
■再生を終えるときは

- ①OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出します。
- ②電源スイッチを押して電源をオフにします。
 - ・ディスクトレイは自動的に閉まります。
 - ・STANDBYインジケーターが点滅後消灯します。



■ヘッドホンで聞くとときは

本機のPHONES端子にヘッドホン（別売り）を接続します。ヘッドホンの音量は本体のOUTPUT LEVELキーまたはリモコンのUP、DOWNキーで調節することができます。



テレビ放送を見るときは

■AV入力端子付きのテレビの場合は

（8ページの接続例Aの場合）

- ①テレビ側でテレビ放送受信に切換えます。
詳細はテレビの取扱説明書をご参照ください。
- ②本機の電源をオフにします。

■AV入力端子の無いテレビの場合は

（9ページの接続例Bの場合）

- ①テレビで見たいチャンネルを選びます。
- ②本機の電源をオフにします。
 - ・ディスクを再生中にテレビ放送に切換えた場合は、画面はテレビに切り替わっていますがディスクは回転を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、ディスクを取り出し本機の電源をオフにしてください。

ご注意

放送の電波の弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面に縞模様が出るかもしれませんが、これは故障ではありません。このようなときは、本機の電源をオフにしてください。

リモコンで操作します。

再生に便利な機能

デジタル／アナログ音声を切換えるときは Digital/Analog (デジタル／アナログ)

音声デジタルとアナログの両方で記録されているディスクは、音声を選んで再生することができます。

- ・電源をオンにしたときは自動的にデジタル音声で再生します。
- ・設定した音声はディスクトレイを開閉すると解除されます。

1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。

2 ▲、▼キーで→をAudioに合わせます。

3 ▶キーを押して、サブメニュー画面を出します。

4 ▲、▼キーで→をDigital/Analogに合わせます。

5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。

6 ▲、▼キーで→を再生したい音声に合わせます。

Digital . . . デジタル音声を再生するとき

Analog . . . アナログ音声を再生するとき

* デジタル・アナログのどちらか片方で記録されているディスクでは、その音声が表示され、切換えることはできません。

7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

- ・6で選んだ音声自動的に設定されます。

メニュー画面

```

Picture
→Audio
Playback
Programming
On-Screen
Key Functions

(Press ▶ Key)
  
```

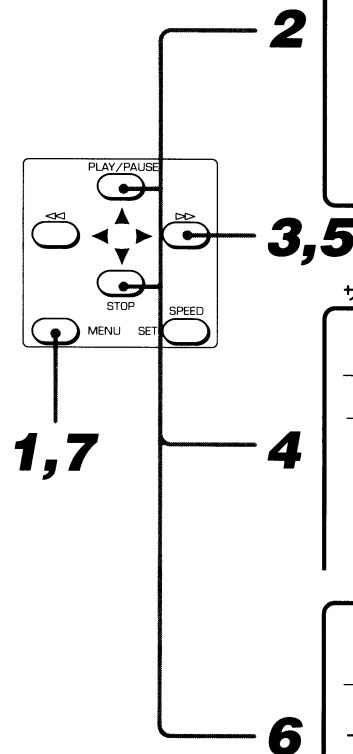
サブメニュー画面

```

— Audio —
Channel
→Digital/Analog *Digital
Surround
CX Noise Reduction
                               ↑
                               ウィンドウ
  
```

```

— Audio —
Channel
→Digital/Analog Analog
Surround
CX Noise Reduction
  
```



メニュー画面

```

Picture
→Audio
Playback
Programming
On-Screen
Key Functions

(Press ▶ Key)
  
```

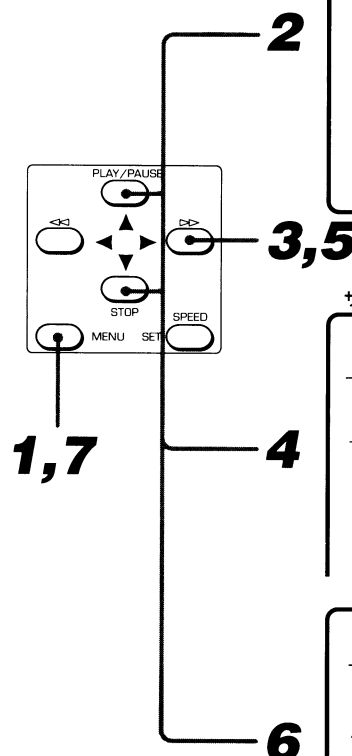
サブメニュー画面

```

— Audio —
Channel
Digital/Analog Movie
→Surround *off
CX Noise Reduction
                               ↑
                               ウィンドウ
  
```

```

— Audio —
Channel
Digital/Analog Movie
Surround →off
CX Noise Reduction
  
```



サラウンドを使うときは Surround (サラウンド)

ムービー ミュージック
“Movie”、“Music”の2種類のサラウンドモードを選ぶことができます。

1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。

2 ▲、▼キーで→をAudioに合わせます。

3 ▶キーを押して、サブメニュー画面を出します。

4 ▲、▼キーで→をSurroundに合わせます。

5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。

6 ▲、▼キーで→を再生したいモードに合わせます。

Movie . . . 映画ソフトを再生するときに適しています。低・中域が豊かに再生されます。

Music . . . 音楽ソフトを再生するときに適しています。音に広がりや残響感が加わります。

offサラウンドモードを使わないとき

* Musicは音声チャンネルがStereoに設定されているときに効果的です。

7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

- ・6で選んだサラウンドモード自動的に設定されます。

再生方法の切換え

Playback (プレイバック)

再生を繰り返すときは

Repeat (リピート)

シングルリピート (チャプター/トラックの繰り返し)、フルリピート (ディスクの片面すべての繰り返し)、A-Bリピート (任意の2点間の繰り返し) の3種類のリピート再生をすることができます。

- 1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2 ▲、▼キーで→をPlaybackに合わせます。
- 3 ▶キーを押し、サブメニュー画面を出します。
- 4 ▲、▼キーで→をRepeatに合わせます。
- 5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。
- 6 ▲、▼キーで→を希望のリピート再生に合わせます。
 Single・・・シングルリピートをするとき
 Full・・・フルリピートをするとき
 A-B・・・A-B (2点間) リピートをするとき
 off・・・シングルリピート、フルリピートを止めるとき
- 7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

メモ

- ・シングルリピート、フルリピートは再生中または再生を始める前でも設定することができます。
- ・ランダム再生、レジュームプレイ、プログラム再生中もシングルリピート、フルリピートをすることができます。

●シングルリピート、フルリピートを止めるときは

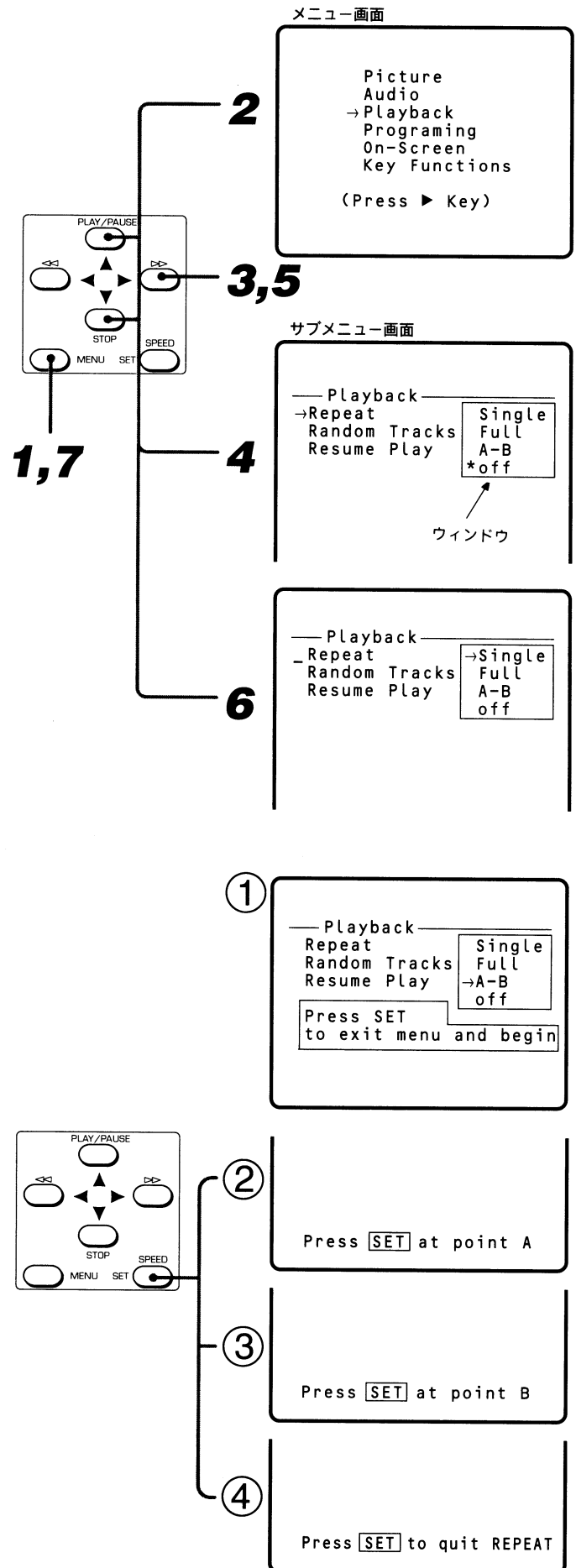
- ステップ6で→をoffに合わせます。
- ・シングルリピートはディスプレイを開閉すると自動的に解除されます。

■A-Bリピートをするときは

- ①再生中にステップ6でA-Bリピートを選び、SETキーを押します。
- ②リピートを始める箇所 (A点) でSETキーを押します。
- ③リピートを終えたい箇所 (B点) でSETキーを押します。
 ・A-Bリピートが始まります。

●A-Bリピートを止めるときは

- ④SETキーを押します。
 またはMENUキーやSTOPキーを押したり、ディスプレイを開閉すると自動的に解除されます。



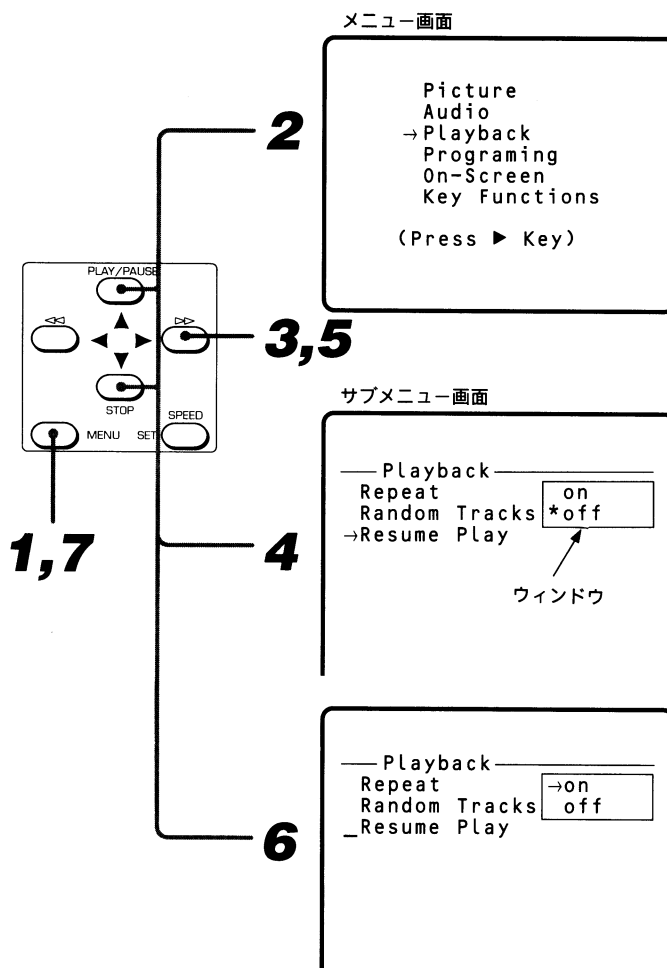
レジューム再生をするときは Resume Play (レジュームプレイ)

レジューム再生モードにしますと、再生中にSTOPキーでストップさせた箇所から再生を再開することができます。

・レジューム再生でストップさせたときは、ディスプレイのチャプター/トラック表示が消え、ストップ時の総演奏経過時間が表示されます。

- 1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2 ▲、▼キーで→をPlaybackに合わせます。
- 3 ▶キーを押し、サブメニュー画面を出します。
- 4 ▲、▼キーで→をResume Playに合わせます。
- 5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。
- 6 ▲、▼キーで→をonに合わせます。
on・・・レジューム再生をするとき
off・・・レジューム再生をしないとき
- 7 MENUキーを押し通常の画面に戻します。

●レジューム再生を止めるときは
ステップ6で→をoffに合わせます。



メモ

- 本体のキーとリモコンのキー機能は独立して働きます。従ってリモコンのキーの機能を切替えている場合には、本体とリモコンのキーを使い分けると、操作がスピーディーに行えるものがあります。
- 通常再生モードで設定したキー機能はカラオケモードにしてもメモリーされています。

- 通常再生モードで設定した下記の項目は電源をオフにしてもメモリーされますので、次に電源をオンにしたときは自動的に設定されます。
 - ・画質 ・サラウンドモード ・フルリピート ・ランダム再生
 - ・レジューム再生 ・時間表示 ・時間表示の内容
 - ・動作表示 ・数字キーの機能 ・スキップキーの機能
- * 電源コードをコンセントから抜いた場合は2週間程度メモリーします。

画面表示の切換え

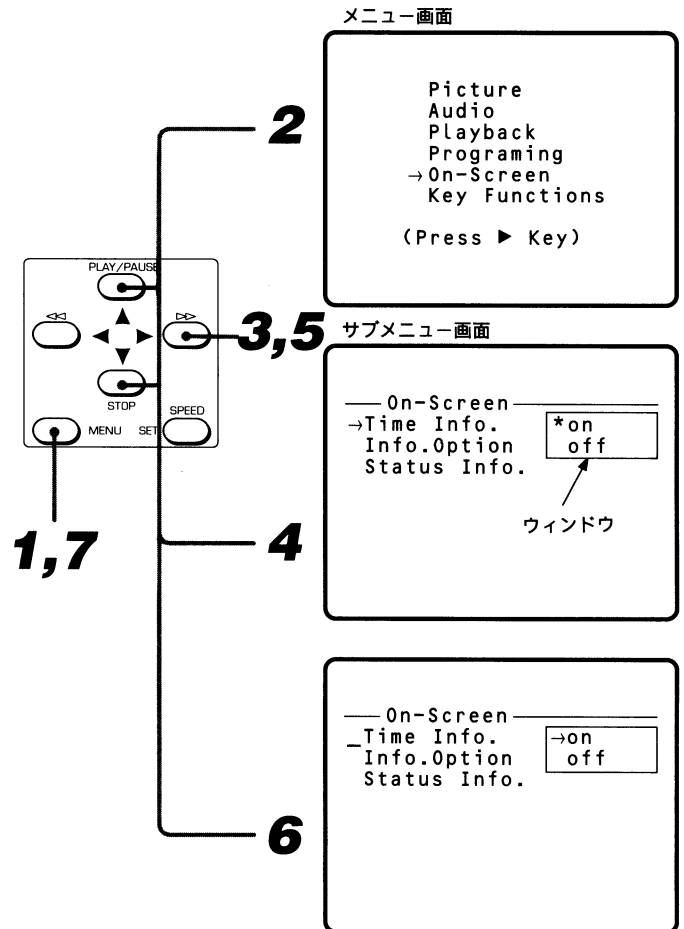
On-Screen (オンスクリーン)

時間表示について

Time Info. (タイムインフォメーション)

再生時間 (フレームナンバー) を表示させるときはオン、表示させないときはオフに設定します。

- 1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2 ▲、▼キーで→をOn-Screenに合わせます。
- 3 ▶キーを押し、サブメニュー画面を出します。
- 4 ▲、▼キーで→をTime Info.に合わせます。
- 5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。
- 6 ▲、▼キーで→を合わせます。
on・・・画面表示をさせるとき
off・・・画面表示をさせないとき
- 7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。
・6で選んだモードに自動的に設定されます。

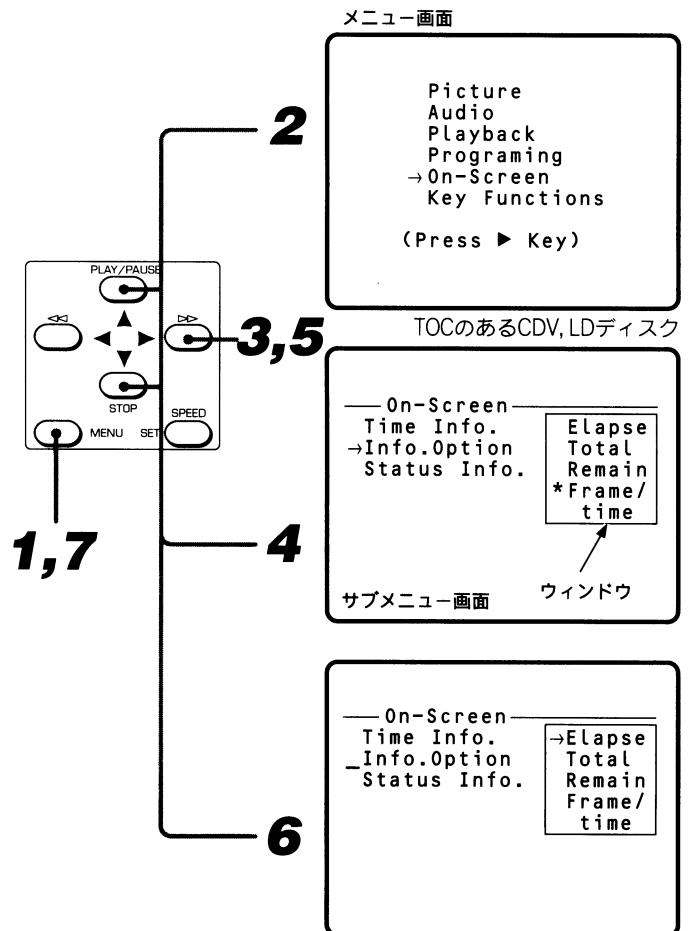


時間表示を切換えるときは

Info. Option (インフォメーションオプション)

時間表示の内容を切換えることができます。

- 1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2 ▲、▼キーで→をOn-Screenに合わせます。
- 3 ▶キーを押し、サブメニュー画面を出します。
- 4 ▲、▼キーで→をInfo. Optionに合わせます。
- 5 ▶キーを押して、ウィンドウ内に→を移します。
- 6 ▲、▼キーで→を希望の表示内容に合わせます。
Elapse・・・曲ごとの再生経過時間を表示させるとき
Total・・・ディスクの頭からの再生経過時間を表示させるとき
Remain・・・ディスクの再生残り時間を表示させるとき
Frame/Time・・・フレーム/タイムナンバーを表示させるとき
* TOCの無いディスクではFrame/Timeのみが表示され、切換えることはできません。
- 7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。
・6で選んだモードに自動的に設定されます。

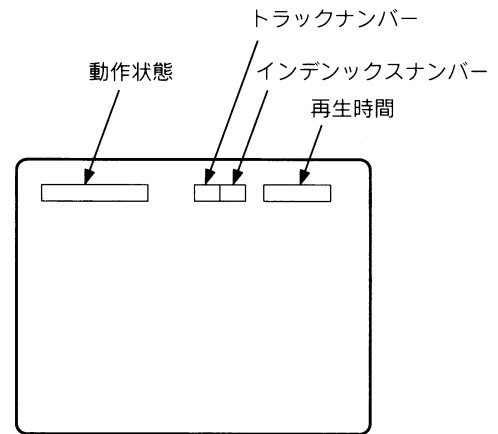
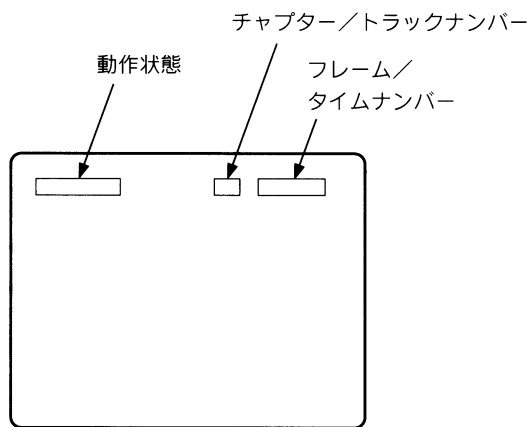


■ 時間表示をオンにすると

・ CAV/標準ディスクでは
チャプター/トラックナンバーとフレームナンバーを表示
ディスプレイはLDタイムを表示

・ CLV/長時間ディスクでは
チャプター/トラックナンバーとタイムナンバーを表示

・ TOCの記録されているディスクでは
チャプター/トラックナンバー、インデックスナンバー、再生時間を
表示



* 時間表示の内容は設定により異なります。

メモ

チャプターナンバー (CAV、CLVディスク)

ディスクの内容の区切りを示します。書物における"章"番号に相当します。

* ディスクによってはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

フレームナンバー (CAV/標準ディスク)

画面に連続してつけられている番号です。書物における"ページ"に相当します。

タイムナンバー (CLV/長時間ディスク)

ディスクの頭からの再生経過時間の表示です。ディスクによって分単位表示のものと秒単位表示のものがあります。

LDタイム

ディスクの映像部の再生経過時間です。TOCの記録されていないCAV/標準ディスクを再生中、フレームナンバーを時間に換算してディスプレイに表示します。

* 映画のソフトなど、一部のディスクでは実際の時間と誤差の生じるものがあります。

再生経過時間 (ELAPSE)

チャプター/トラックごとの再生経過時間です。

総再生経過時間 (TOTAL ELAPSE)

ディスクの頭からの再生経過時間です。

総再生残り時間 (TOTAL REMAIN)

ディスクの再生残り時間です。

- ・ ディスクのなかにはチャプターとトラックの両方が記録されているものがあります。通常チャプターは0から記録され、トラックは1から記録されています。
- ・ 時間表示の内容を切り換えられるのはTOCの記録されているディスクに限ります。
- ・ 12cm CDVはビデオパート、オーディオパートの各パートごとに時間表示されます。

ディスクの途中から再生するときは

ダイレクトサーチ (チャプター/トラックサーチ)

再生を始めたいチャプター/トラックのナンバーを、本体のダイレクト選曲キーまたはリモコンの数字キーを押して指定します。

メモ

- ・10以上のナンバーを指定するときは+10キーを使います。
例：23のときは+10、+10、3の順に押します。
* +10キーを押し間違えたときは、押し続けて0_を表示させます。そのままでは1の位に自動的に0が入力されます。
- ・ディスクに無いナンバーを指定しますと“END OF DISC”が表示されストップします。
* CDの場合はディスクの最終曲を再生、12cm CDVではビデオパートを再生します。
- ・リモコンの数字キーを押すと画面にFRAMEの表示とともに数字が表示されるときは、「数字キーの機能の切換え」(P.28)を行ってください。

スキップサーチ

スキップキーを使うとディスクの収録順に再生するチャプター/トラックを選ぶことができます。

- ・再生中にスキップサーチをすると選んだチャプター/トラックの再生に移ります。
- ・ストップ中やポーズ中にスキップサーチをしたときはPLAY/PAUSEキーを押して再生をスタートさせます。
- ・「数字キーの機能の切換え」(P.28)で数字キーをTrackモードにしてください。

●▷◁キー

キーを押すごとに次のチャプター/トラックの頭に移ります。押し続けると連続的に移動し、最終のチャプター/トラックの頭で止まります。

- ・TOCの記録されていないディスクでは、ディスクに無いチャプター/トラックまでスキップサーチすると、“END OF DISC”が表示されストップします。

●◁◁キー

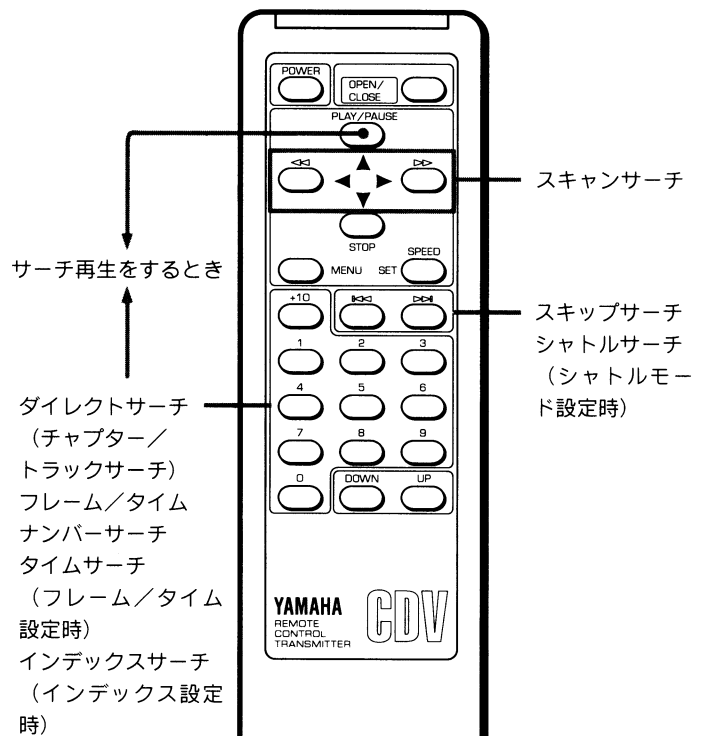
キーを押すごとに前のチャプター/トラックの頭に移ります。(再生中はそのチャプター/トラックの頭に戻ります。)押し続けると連続的にディスクの頭まで戻ります。

シャトルサーチ

リモコンで操作します。

ソフトの概要をだまかに知りたいときに便利な機能です。再生中にスキップキーを押しますと、画面にはディスク全体を示すバググラフと現在の再生位置が表示されます。再生したい箇所にスキップキーで↑を移動させると、↑の位置から再生をスタートさせることができます。

- ・「数字キーの機能の切換え」(P.28)で◁◁、▷◁キーをShuttleモードにしてください。

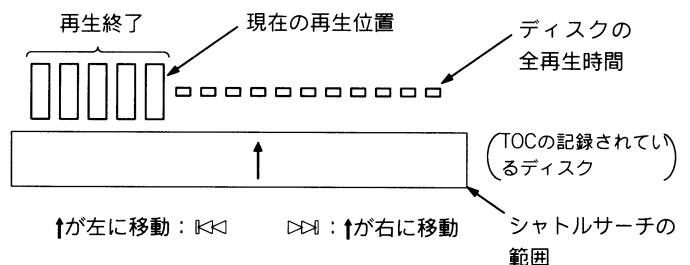


1 スキップキーの◁◁キーまたは▷◁キーを押します。

- ・▷◁キーを押しますと↑が右に移動します。
◁◁キーを押しますと↑が左に移動します。

2 再生したい箇所に↑を合わせます。

- ・サーチ後指定した位置から再生がスタートします。
- ・12cm CDVではビデオパート、オーディオパートの各パートごとの指定になります。



- * TOCの記録されていないディスクでは現在の再生位置は表示されません。

メモ

シャトルサーチは大体の位置のサーチ方法です。ディスクによっては、正確に最外周、最内周、中央などを指定できない場合があります。

トリック再生のしかた

リモコンで操作します。

トリック再生

CAV/標準ディスクでは静止画再生、コマ送り再生、マルチスピード再生などのトリック再生をすることができます

- ・トリック再生中は音声は出ません。
- ・CLV/長時間ディスクではトリック再生はできません。

■静止画再生/コマ送り再生

再生中にSPEEDキーを押しますと画面は静止画になります。

- ・▶キーを押すと、キーを押すごとに正方向にコマ送りします。
- ・◀キーを押すと、キーを押すごとに逆方向にコマ送りします。

- 通常の再生に戻すときはSPEEDキーを押します。

■マルチスピード再生

再生スピードを変えて再生することができます。

- ・マルチスピード再生中は音声は出ません。

1 SPEEDキーを押して静止画にします。

2 ▲キー、▼キーを押して再生スピードを選びます。

1/90	} スローモーション再生
1/30	
1/16	
1/8	
1/4	
1/2	
×1	標準スピード再生
×2	} ハイスピード再生
×3	
×12	

* ▼キーを押し続けると静止画になります。

●再生方向を変えるときは

- ・▶キーを押すと、正方向に再生します。
- ・◀キーを押すと、逆方向に再生します。

- 通常の再生に戻すときはSPEEDキーを押します。

メモ

- ・ピクチャーストップコードによる静止画再生時は、画面にAUTO STILLが表示されます。
- ・AUTO STILL表示の静止画再生時は◀、▶キーでコマ送りがすることができますが、再生スピードを変えることはできません。
- ▲キーはPLAY/PAUSEキー、▼キーはSTOPキーとして働きます。
- ・AUTO STILL表示の静止画をコマ送りしますとAUTO STILLは解除され通常の静止画再生になります。

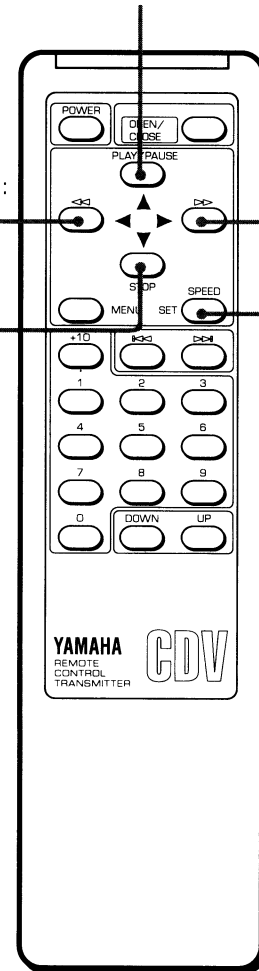
マルチスピード再生のスピード選択

静止画：
逆方向にコマ送り
マルチスピード再生：
逆方向に再生

静止画：
正方向にコマ送り
マルチスピード再生：
正方向に再生

マルチスピード再生のスピード選択

トリック再生を始めるとき
トリック再生をやめるとき



選曲再生するときは

ダイレクト選曲

本体のダイレクト選曲キーまたはリモコンの数字キーで曲番を選びます。

- ・曲番が10以上の曲を選ぶときは+10キーを使います。
例：曲番15のときは、+10キーを押してから5キーを押します。
- ・ディスクをセットする前でも選曲することができます。

スキップ選曲

本体またはリモコンのスキップキーを使うと、再生しているディスクの収録順に選曲することができます。

- ・ディスクをセットする前でも選曲することができます。
- ・再生中にスキップをすると選んだ曲の再生に移ります。
- ・ストップ中やポーズ中に選曲したときはPLAY/PAUSEキーを押して再生をスタートさせます。

●▷◁キー

キーを押すごとに次の曲の頭に移ります。
押し続けると連続的に移動し、最終曲で止まります。
・TOCの記録されていないディスクでは、ディスクに無い曲番までスキップすると、“END OF DISC”が表示されストップします。

●◀◁キー

キーを押すごとに前の曲の頭に移ります。（再生中はその曲の頭に戻ります。）
押し続けると連続的にディスクの頭まで戻ります。

次に唄う曲を予約するときは リモコンで操作します。

現在再生しているディスクの中から1曲、または次に再生するディスクの中から1曲、唄う曲を予約することができます。


- 1** 再生中のディスクの中から予約するときはSPEEDキーを1回押します。

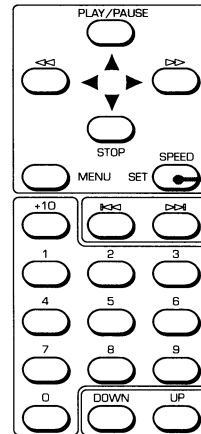
次に再生するディスクの中から予約するときはSPEEDキーを2回押します。

- 2** 予約画面を表示中に、数字キーで予約する曲番を指定します。


- ・予約画面は約4秒間表示されます。この間に指定しないと自動的に解除されます。
- ・予約しないときはもう一度SPEEDキーを押します。

現在再生中のディスクの中から予約する画面

Next song  on this disc



次のディスクの中から予約する画面

Next song  on following disc

*表示は約4秒後に消えます。

●予約を変更する場合は

- 予約画面の表示中に数字キーを押しなおします。
- ・予約がある場合はSPEEDキーを押すと、その曲番を表示します。

●予約を止めるときは

- SPEEDキーを数回押して、指定した曲番を" -- "にします。

メモ

- ・予約できるのは1曲だけです。予約中に新たな予約をしますと、新しい予約が優先し、以前の予約は自動的に解除されます。
- ・予約した曲の再生が終わりますと自動的にストップになります。
- ・次のディスクに予約がある場合は、ディスクを入れ替えますと自動的に予約曲の頭で一時停止または再生がスタートします。

リモコンで操作します。

マイクのエコーの効き具合を調節するときは Echo (エコー)

16段階に調節することができます。

・TOCの記録されているディスクでは、設定したエコーを十八番ファイルとしてセーブすることができます。

1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。

2 ▲、▼キーで→をEchoに合わせます。

3 エコーをより強く効かせるときは

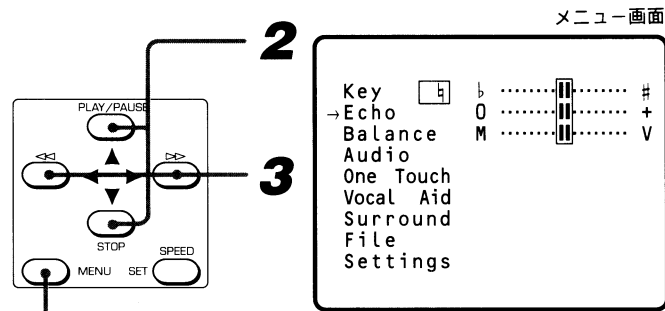
▶キーを押し、IIを+側に移動させます。

エコーを弱くするときは

◀キーを押し、IIを0側に移動させます。

* 中央が標準的な設定です。

4 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。



1,4

音多バランスを調節するときは Balance (バランス)

音声多重のカラオケディスクを再生中は、演奏とボーカルの音量バランスを調節することができます。オリジナルのボーカルの音量を小さくすれば、新曲を練習するときなどに有効です。

・TOCの記録されているディスクでは、設定した音多バランスを十八番ファイルとしてセーブすることができます。

1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。

2 ▲、▼キーで→をBalanceに合わせます。

3 ボーカルの音量を大きくするときは

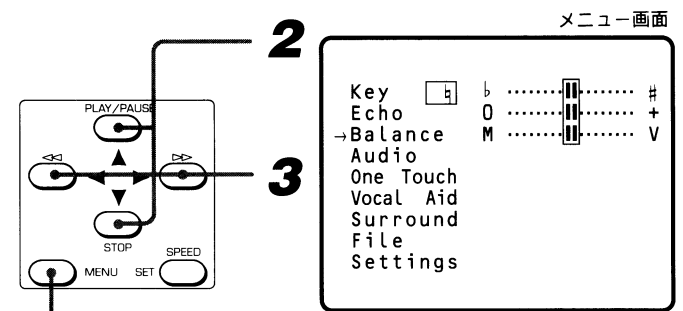
▶キーを押し、IIをV (ボーカル) 側に移動させます。

演奏の音量を大きくするときは

◀キーを押し、IIをM (ミュージック) 側に移動させます。

* 中央が標準的な設定です。

4 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。



1,4

メモ

音声モードがステレオに設定されているときは音多バランスを調節することができません。(「音声多重モードを切り替えるときは」P.36)

全体の音量やマイクの音量の調節について

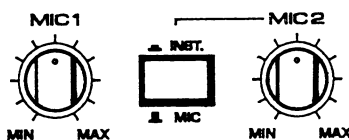
全体の音量はアンプなど接続した機器側で調節します。

・本機で調節するときは必ず本体のOUTPUT LEVELキーを使ってください。

マイクの音量は本体のマイクレベル調節ツマミで調節します。

MIN側・・・マイクの音量が下がる

MAX側・・・マイクの音量が上がる



●ハウリング (キーンという音) が出るときは

①マイクの音量を下げる ②マイクの向きを変える ③マイクとスピーカーの距離を離す ようにするとハウリングを防ぐことができます。

ご注意

マイクの音量が大きすぎると、音声が歪むなど接続した機器に影響を与えることがあります。そのようなときは本機のマイク音量調節ツマミを左に回して音量を下げてください。

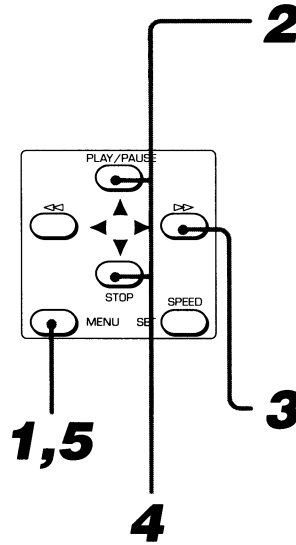
吹き替えカラオケのしかた

Vocal Aid (ボーカルエイド)

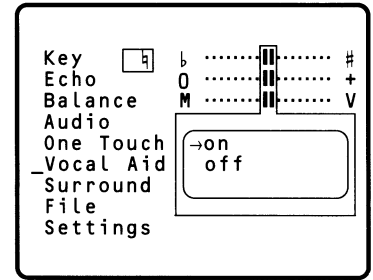
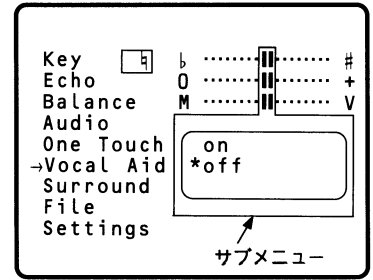
ボーカルエイドに設定しますと演奏のボーカル部分がマイクで唄ったときだけマイクの音に切り換わります。唄につまったときやデュエット曲を一人で唄うときに便利です。

- 音多ディスクのときは音声モードを必ずMultiに設定し、ディスクのボーカルが出るように音多バランスを調節してください。
(「音多バランスを調整するときは」P.35、「音声多重モードを切換えるときは」P.36)
- 普通のディスクのときは、ステレオで記録されているディスクを使い、音声モードを必ずStereoに設定してください。
- TOCの記録されているディスクでは、ボーカルエイドの設定を十八番ファイルとしてセーブすることができます。
- ワンタッチカラオケと同時にボーカルエイドをすることはできません。

- 1** MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2** ▲、▼キーで→をVocal Aidに合わせます。
- 3** ▶キーを押し、サブメニュー画面に→を移します。
- 4** ▲、▼キーで→をonに合わせます。
on・・・ボーカルエイドをするとき
off・・・ボーカルエイドをしないとき、止めるとき
- 5** 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。



メニュー画面



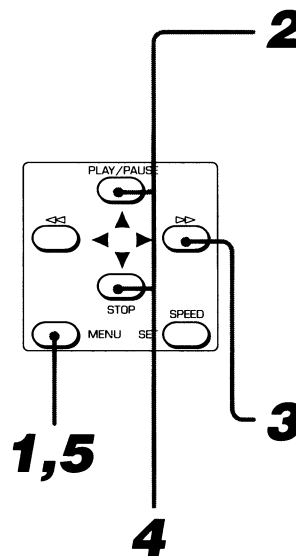
サラウンドを使うときは

Surround (サラウンド)

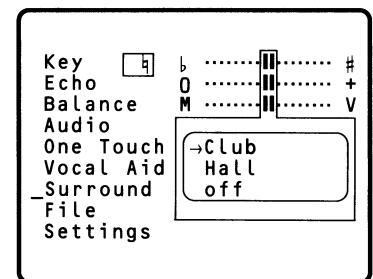
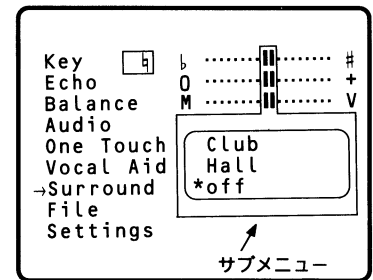
カラオケモードではClubとHallの2種類のサラウンドモードが用意されています。唄に合わせてお選びください。

- TOCの記録されているディスクでは、選択したサラウンドモードを十八番ファイルとしてセーブすることができます。

- 1** MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2** ▲、▼キーで→をSurroundに合わせます。
- 3** ▶キーを押し、サブメニュー画面に→を移します。
- 4** ▲、▼キーで→を希望のサラウンドモードに合わせます。
Club・・・クラブで唄っているようなサラウンド感が得られます。
Hall・・・音が広がり加わりホールで唄っているようなサラウンド感が得られます。
off・・・サラウンドを使わないとき
- 5** 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

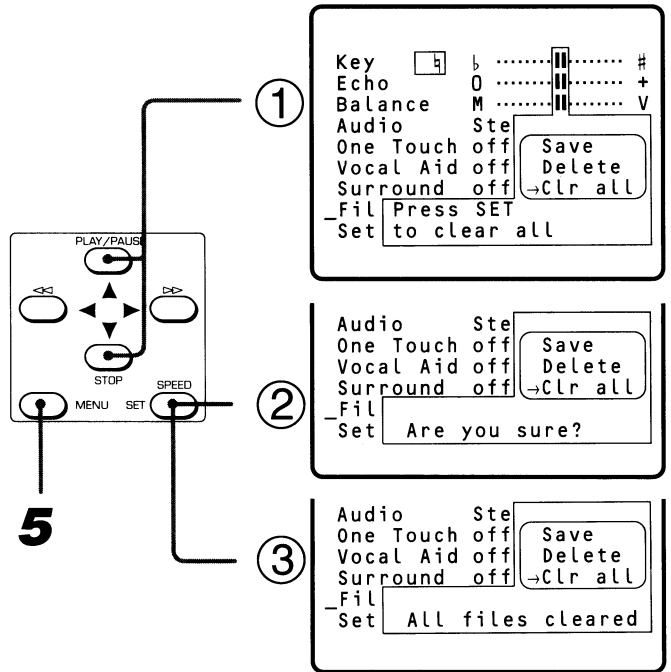


メニュー画面



■セーブしていたファイルをすべて削除するときは

- ①上記のステップ4で→をClr allに合わせます。
- ②SETキーを押します。
 - ・削除してよいかの確認画面が出ます。
 - ・削除を止めるときはMENUキーや◀、▲、▼キーを押します。
- ③削除をするときはもう一度SETキーを押します。



動作状態の切換え

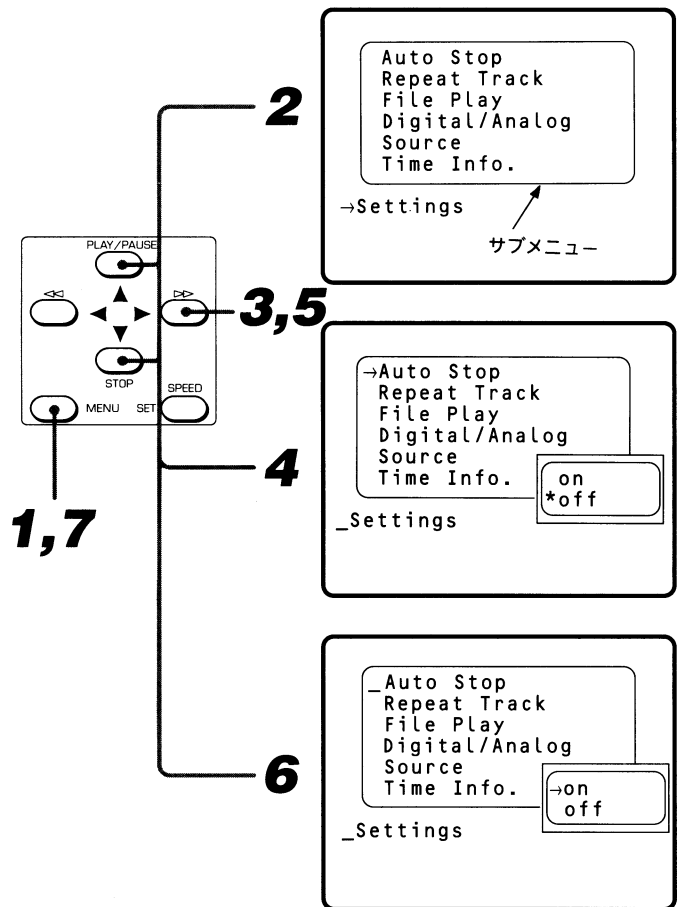
Settings (セッティング)

1 曲ごとに一時停止させるときは Auto Stop (オートストップ)

1曲の再生が終わるごとに自動的に一時停止 (PAUSE) させることができます。次に唄う準備が整いましたらPLAY/PAUSEキーを押して再生をスタートさせます。

- ・オフに設定しますとカラオケディスクをバックグラウンドミュージックとしてお使いになれます。

- 1** MENUキーを押しメニュー画面を出します。
- 2** ▲、▼キーで→をSettingsに合わせます。
- 3** ▶キーを押し、サブメニュー画面に→を移します。
- 4** ▲、▼キーで→をAuto Stopに合わせます。
- 5** ▶キーを押し、on/off画面に→を移します。
- 6** ▲、▼キーで→をonに合わせます。
 - on・・・1曲再生ごとに一時停止になります。
 - off・・・連続して再生します。
- 7** 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。
 - ・他のセッティング項目を選ぶときは◀キーを押し、ステップ4以降の操作をします。



ご注意

オートストップ状態ではディスクは回転を続けています。従ってオートストップ状態を長時間放置しますとディスク回転用のモーターの寿命を縮める原因になる場合があります。長時間使用しない場合は、STOPキーを押してストップさせてください。

- オートストップを止めるときは
ステップ6で→をoffに合わせます。

5 ▶キーを押し、on/off画面に→を移します。

6 ▲、▼キーで→をonに合わせます。

on 十八番ファイルで再生するとき

off 十八番ファイルを使わずに再生するとき

7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

・他のセッティング項目を選ぶときは◀キーを押し、ステップ4以降の操作をします。

●十八番ファイルを使わずに再生するときは
ステップ6で→をoffに設定してから再生します。

デジタル音声／アナログ音声の切換え Digital/Analog (デジタル／アナログ)

デジタル／アナログの2種類の音声で記録されているディスクでは、再生する音声を切換えることができます。

1 MENUキーを押しメニュー画面を出します。

2 ▲、▼キーで→をSettingsに合わせます。

3 ▶キーを押し、サブメニュー画面に→を移します。

4 ▲、▼キーで→をDigital/Analogに合わせます。

5 ▶キーを押し、Digital/Analog画面に→を移します。

6 ▲、▼キーで→を希望の音声に合わせます。

Digital デジタル音声で再生するとき

Analog アナログ音声で再生するとき

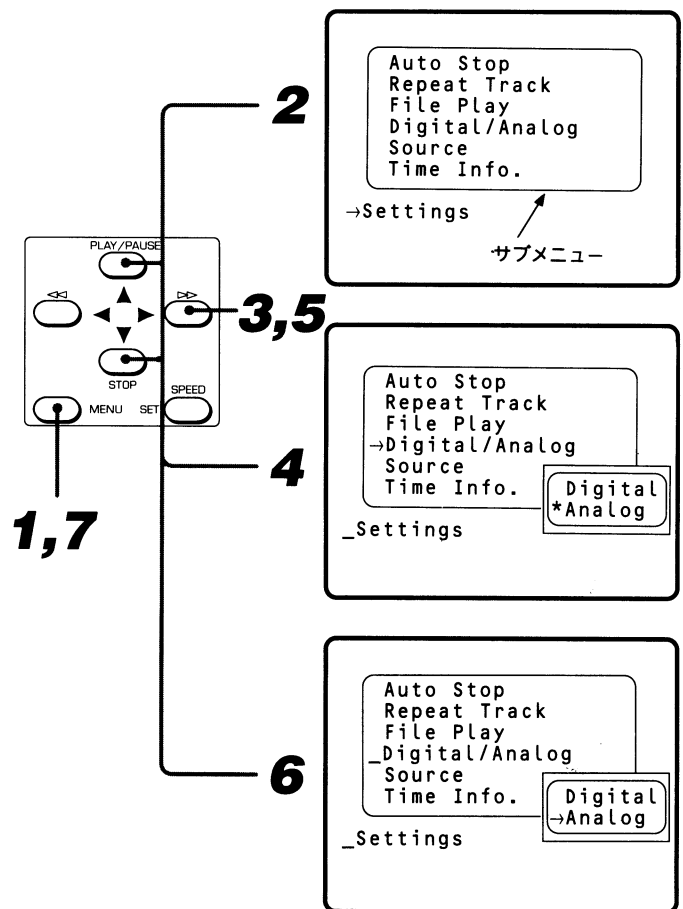
* 1種類の音声で記録されているディスクでは、そのディスクの音声が表示され、音声を切換えることはできません。

* デジタル音声多重カラオケディスクでは、音声モードがStereoに設定されているときのみ音声の切り換えができます。

(「音声多重モードを切換えるときは」P.36)

7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

・他のセッティング項目を選ぶときは◀キーを押し、ステップ4以降の操作をします。



7 通常の画面に戻すときはMENUキーを押します。

- ・他のセッティング項目を選ぶときは◀キーを押し、ステップ4以降の操作をします。

カラオケ用マイクを使うと

ヤマハのキーコン付きカラオケマイクYMK-305PRO（別売り）を使用すると、キーコントロールをマイク側で操作することができます。またワンスモア（唄い戻し）をすることができます。

●キーコントロール操作

カラオケのキー（音程）を調節するときはKEYボタンのbまたは#を押します。bを押すごとにキーが下がり、#を押すごとにキーが上がります。演奏している曲が終わると元のキーに戻ります。

●ワンスモア操作

演奏しているところから少し前に戻したいときや、唄い出しに失敗したときなどはONCE MOREボタンを押します。押すごとに演奏が約5秒前に戻ります。

- ・詳細はマイクの取扱説明書をご参照ください。
- ・YMK-305PRO（別売り）を本機に接続するときは、さきにコントロールプラグをMIC CONTROLジャックに接続してから、マイクジャックを接続します。

メモ

- カラオケモードで設定した下記の項目は、電源をオフにしてもメモリーされますので、次に電源をオンにすると自動的に設定されます。
 - ・カラオケモード ・音声多重モード ・エコー ・音多バランス
 - ・サラウンドモード ・オートストップ ・ファイル再生
 - ・時間表示
- * ファイルブレイをしますと十八番ファイルが優先します。
- * 電源コードをコンセントから抜いた場合は、2週間程度メモリーします。

●本機は通常再生モードとカラオケモードでは操作方法、リモコンのキーの機能や本機の動作モードが大きく異なります。操作手順などでおかしいなと思われたときは、まず、通常再生モードからカラオケモードかを、よくお確かめください。

通常再生（スタンダード）モード時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
希望するサーチができない	・リモコンの数字キーの設定が異なっている	・数字キーの設定を確認してください
リモコンのスキップキーが動かない	・シャトルモードになっている	・スキップモードに設定してください
トリック再生ができない	・CLVディスクを再生している	・CLVディスクではトリック再生はできません
音声が不自然に聞こえる	・CXノイズリダクションをオンにするディスクをオフで再生している	・CXノイズリダクションをオンに設定してください
希望の操作ができない	・メニュー画面が表示されている	・一部の操作には通常の画面に戻さないと操作できないものがあります

カラオケモード時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
リモコンで音量が変えられない	・音量キーは自動的にキーコントロールキーになります	・本体のキーで調節してください
映像と音が出ない	・SourceがAUX Inに設定されている	・Discに設定してください
音多バランスが調節できない	・AudioがStereoに設定されている	・MultiまたはHi-Fi Multiに設定してください
ワンタッチカラオケやボーカルエイドができない	・モノラルディスクを再生している ・AudioがMulti, Hi-Fi Multiに設定されている ・マイクの音量が小さい、唄声が小さい	・ステレオディスクを使ってください ・Stereoで再生してください ・マイクの音量を上げるか、歌声を大きくしてください
希望の再生ができない	・音声の設定が間違っている（マルチオーディオディスク）	・ディスクの解説を確認してデジタル/アナログの音声を切換えてください
十八番ファイルがセーブできない	・すでにファイルがメモリー容量一杯にセーブされている（画面に"FILE FULL"が表示されている）	・不要なファイルを削除してから十八番ファイルをし直してください

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。
したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。

音楽著作権協会

本 部	☎ (03) 3502-6551	北 陸 支 部	☎ (0762) 21-3602
北海道支部	☎ (011) 221-5088	京 都 支 部	☎ (075) 251-0134
盛 岡 支 部	☎ (0196) 52-3201	大 阪 支 部	☎ (06) 244-0351
仙 台 支 部	☎ (022) 264-2266	神 戸 支 部	☎ (078) 322-0561
大 宮 支 部	☎ (048) 643-5461	中 国 支 部	☎ (082) 249-6362
東 京 支 部	☎ (03) 3562-4455	四 国 支 部	☎ (0878) 21-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九 州 支 部	☎ (092) 441-2285
横 浜 支 部	☎ (045) 662-6551	鹿 児 島 市 部	☎ (0992) 24-6211
静 岡 支 部	☎ (054) 254-2621	那 覇 出 張 所	☎ (098) 863-1228
中 部 支 部	☎ (052) 586-1155		